



MEIJI UNIVERSITY

CAREER CENTER GUIDEBOOK 2026





ご 挨 拶

創立から145年、明治大学は建学の精神である『権利自由』『独立自治』に基づき、各時代の要請に対応できる有為な人材の育成に努めて参りました。この間に送り出した卒業生は61万人を超え、国の内外、社会の至る領域で重要かつ多面的な活躍をし、社会的に高い評価をいただいております。世界規模の災害、感染症、戦争などの問題を抱える現代社会において、本学では、これらの難局を乗り越え得る知の創造を推進し、時代を変革していく人材を育成するための重要な柱として学生支援を位置づけております。



人生の土台を形成する学生時代から社会へ羽ばたく転換期となる大学生活において、キャリア支援と就職支援は、人生100年時代を見据えたその後の人生に重要な役割を果たします。本学では学生一人ひとりが「納得のいく就職」ができるよう、学年に応じた支援、そして様々な段階で必要な支援が受けられる体制を整えるとともに、企業・団体様との懸け橋になる支援に力を入れる独自の取り組みを推進しております。

キャリアデザインでは早期から将来の自分の生き方を考え、働く意義を理解することが大事です。そのため、低学年からキャリアを考える行事を実施し、高学年ではより具体的な業界研究、グループディスカッション講座等に段階を追ってステップアップできる体制を整えています。支援の柱は相談、支援行事、情報提供などになりますが、これらが個々の状況に応じて受けられるように、個別相談では対面型とオンライン型（2025年度約21,200回）を併用するほか、「手作りの支援」をモットーとした就職支援行事における動画配信やライブ配信（同約400回）の導入なども行い、大きな成果を上げております。

また、企業・団体様との懸け橋になる支援として就職キャリア支援システム「M-Career（エム・キャリア）」があります。このシステムでは、企業・団体の皆様に求人情報をはじめ、会社説明会やインターンシップ（各種仕事理解イベント）の情報を簡単にご登録いただけますので広くご活用賜れればと存じます。お陰様にて、現在約39,300社の企業・団体様にご登録下さり、2025年度は約2,800件を超える求人をしていただくことができました。また、学生にとりましては、本システムを利用した求人情報の検索、大学の個別相談の申込や各種支援行事の情報確認など、効率的に就職活動に取り組める有用なものとなっております。今後もこのシステムを一層活用し、企業・団体様と本学及び本学学生との関係をより深めるとともに、就職キャリア支援の質向上を図ってまいります。

今後も現代社会ならではの難問に対峙していかざるを得ない状況が続くことと想われますが、明治大学で「個」を磨き、人間力を涵養した学生たちは、社会のあらゆる場面で同心協力の理念のもと、未来を主体的に切り拓いていく人材として活躍してくれるはずです。

これからも貴社・貴団体との良きご縁を育んでいこう尽力して参りますので、今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

就職キャリア支援センター長
石津 寿恵



140年を超える歴史を有する明治大学。

「強く今を生き、たくましく明日をつくっていく人材を育てる」という建学の精神は、

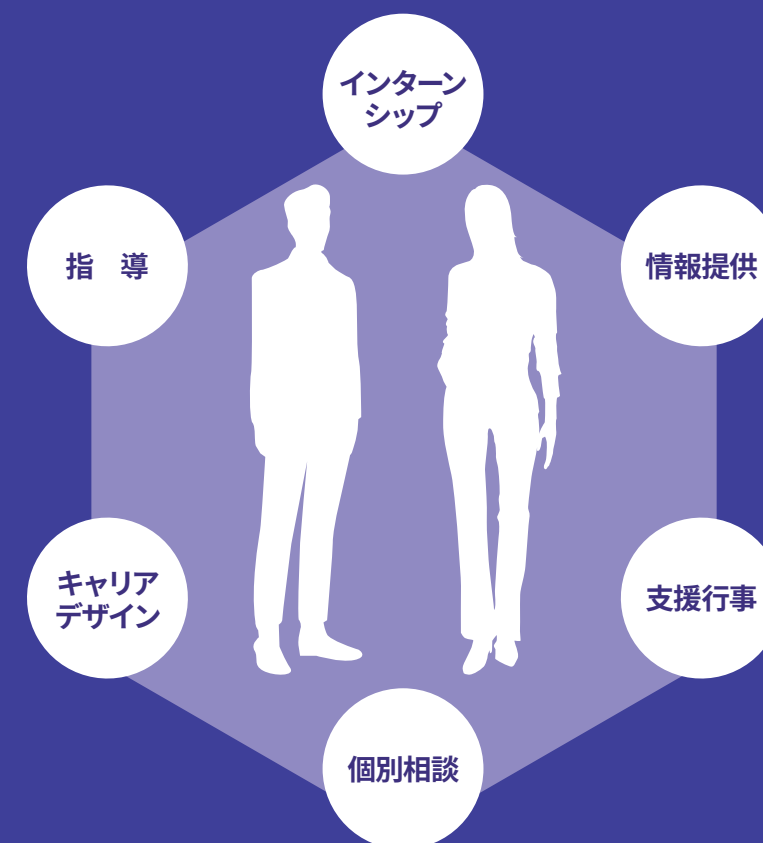
「個」を強くするという理念に継承されています。

CONTENTS

- | | |
|--|---|
| <p>02 ご挨拶</p> <p>04 明治大学の就職キャリア支援</p> <p>05 主な就職支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ●低学年支援 ●3・4年生(院1・2年生)支援 ●「個」に合わせた特徴的な支援 <p>09 就職キャリア支援センターの3つの機能</p> <p>10 主な就職キャリア支援スケジュール</p> | <p>11 求人のお問い合わせ</p> <p>13 学部・大学院</p> <ul style="list-style-type: none"> ●学部紹介 ●大学院・専門職大学院紹介 <p>21 業種別就職状況</p> <p style="padding-left: 20px;">出身地別卒業生数・Uターン就職者数</p> <p>22 就職キャリア支援センターのご案内</p> |
|--|---|

「個」の将来を導く 明治大学の就職キャリア支援

明治大学は、キャリア支援活動や教職員によるサポート体制の充実が高く評価され、高校の進路指導教諭が選ぶ「就職に力を入れている大学」ランキングで、16年連続1位に選出されています。“就職の明治”ならではのサポート力で学生一人ひとりが未来をつかむ力をつけています。



数字で見る (2025年度)

400

支援行事

年間を通じて、様々な希望進路に合わせた幅広い支援行事を行っています。

21,200

学生相談件数

進路全般に関することから選考対策まで多岐にわたる相談に対応しています。

930

来訪企業数

多くの企業や団体が採用活動のために来訪されます。

2,800以上

求人件数

有力企業をはじめとした多くの企業の皆様から求人情報をいただいています。

主な就職支援

低学年支援

早期からのキャリアデザインを目的とし、キャリアを考えるための各種行事を実施。将来の自分の生き方を考え、働く意義を理解するための教育を行っています。

PBL(課題解決型学習)プログラム

企業の採用担当者様にご協力いただき、主に低学年を対象としたPBL (Project Based Learning) 形式のイベントを実施しています。企業様からテーマを提示いただき、それに基づき学生がディスカッションを行い、プレゼンテーションを行います。学生は与えられたテーマを基に議論していく過程で、業界・企業の研究方法を学び、ディスカッションと採用担当者様のフィードバックを通して、チームビルディング・議論の組み立て方を学びます。プレゼンテーション終了後は、今後の学生生活の目標設定を行い、次のアクションに繋がれるように促しています。



Meiji Job Trial(低学年限定就業体験プログラム)

学部1・2年生限定の就業体験プログラムを実施しています。就職キャリア支援センターが準備した事前研修課題受講・課題提出後、夏季休業期間中に企業での就業体験に参加し、その後参加学生同士での振り返りワークや相談員との振り返り面談等を実施します。低学年時にこのような就業体験をすることで、自身の目標と現在地とのギャップを知り、学業面や生活面での目標を立てることを支援し、卒業後のキャリアについて早くから検討する機会を提供しています。



3・4年生(院1・2年生)支援

本格化する就職活動に向け、広く社会を知る機会や身に付けた力をアウトプットする場を多数用意。ニーズに応じた就職支援を行っています。

グループディスカッション講座

企業・団体の採用担当者様にご協力いただき、“グループディスカッション講座”を実施しています。企業の方からフィードバックをいただくことで、学生が実践的に選考対策を行うことができる機会を提供しています。



模擬面接会

企業・団体の採用担当者様にご協力いただき、“模擬面接会”を実施しています。本番さながらの雰囲気の中での模擬面接・採用担当者様からのフィードバックは、学生にとって多くの気づきがあり、今後の就職活動に向けた大きな糧となっています。



学内業界研究会

就職活動スケジュールから鑑みて、企業と学生双方にとって有益な機会を創出できるように試みています。対面・オンラインにて様々なイベントを設定し、趣旨に沿った企業様から協力を賜り開催しています。



4年生支援

4年生進級後は選考を進める上での疑問や不安を解消するセミナーに加え、企業・団体様にご協力いただき学内企業説明会を実施し、マッチングの機会を提供しています。



主な就職支援

「個」に合わせた特徴的な支援

学生一人ひとりに合わせて、キャリアデザインを徹底的にサポート。

海外 PBL 型インターンシップ

経済成長著しい東南アジアで金融サービスを展開する企業（日経企業現地法人含む）から、激しく変化するマーケットの中で、『金融と小売の融合をテーマにした将来のビジネス』の在り方を、実際のビジネスの現場に参加しながら学び、幹部社員に新規提案を行うプログラムです。他大学の学生も参加する中で、ランダムに結成されたチームで提案を競います。提案に向けて、学生は金融業界の理解を深め、フィールドワーク、リサーチ、検証を繰り返し、企業関係者の方のフィードバックでブラッシュアップを重ねていきます。プログラムを通じ企業の業務理解を深めると共に、地域文化・風土の理解、グローバル思考の醸成、企業としての社会的役割等の理解を深めます。



留学生支援

日本での就職を希望する外国人留学生を対象に就職活動支援を行っています。日本の就職活動を理解するためのガイダンスや業界研究講座、ビジネス日本語講座、面接対策講座等を実施し、外国人留学生の就職活動をサポートしています。



障がい学生支援

「コミュニケーションが苦手な学生向けガイダンス」から始まり、障がい学生の就職活動全般を支援しています。特に障がい採用枠での就職活動を志望する学部3年生・院1年生を主な対象として、夏季休業中にオンライン仕事体験や企業インターンを実施し、仕事理解を支援しています。

UIJターン就活イベント

UIJターン就職を希望する学生に対して、UIJターン就活の知っておきたいポイントをまとめたガイダンスを実施したり、自治体等が主催する就活イベントの情報をポータルサイトで案内しています。ガイダンスでは、地方企業やイベントの情報収集方法等、UIJターン就活をする上でのポイントを伝えています。

内定者による支援

内定を得た学生が自らの経験を後輩に還元することを目的に、内定者による「就職支援行事」等を実施しています。就活生からは、自己分析の方法や業界・企業研究の進め方、なぜその会社に入社を決めたか等、直近で就職活動をした先輩にだからこそ聞きたい多くの質問が寄せられます。



公務員志望者支援

公務員試験の仕事内容や試験対策について解説するガイダンスをはじめ、国家公務員の採用を行う人事院や各自治体の人事担当者、卒業生を招いての業務理解説明会や座談会、質問会を実施しています。面接試験対策として模擬面接も実施しており、公務員を目指す学生のサポートも万全です。



就職キャリア支援センターの3つの機能

1 相談

就職活動で直面している問題や進路選択全般について、「Face to Face」の個別相談（対面・オンライン）を行っています。個々の疑問・不安・問題意識を学生本人と相談員が同時に客観的に捉え、分析することで、学生が新たな活動に自信をもって積極的に取り組めるよう、一人ひとりにきめ細かなアドバイスをしています。



2 支援行事

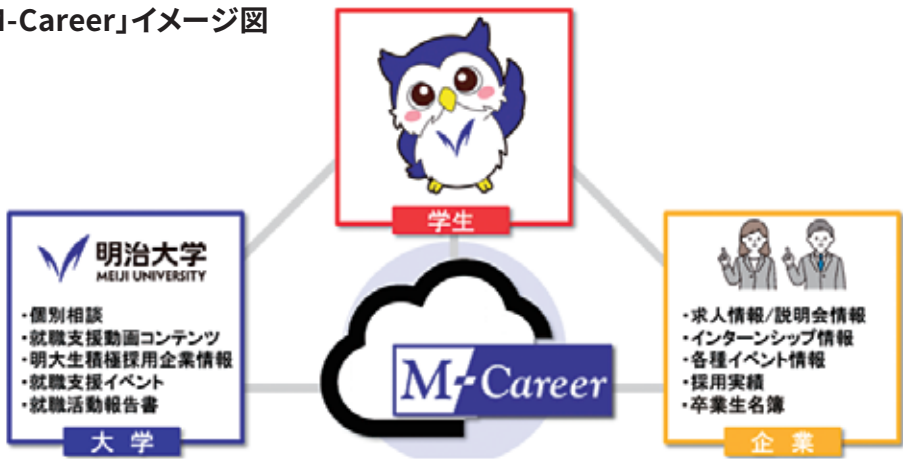
学生同士の交流が図れる“参加型”の支援行事を数多く行っています。また、就職キャリア支援センターには、2025年度も年間で延べ約930の企業・団体の皆様にご来訪いただいております。情報交換から得た各業界・企業の採用動向等を蓄積・共有することで、最新動向を反映した「手づくり」の支援行事を開催しております。こうした支援行事により、学生はリアルな情報を自ら積極的に収集することが可能となっています。



3 情報提供

本学独自の求人情報検索システム「M-Career」を利用し、個別相談、大学情報（就職支援イベント、就職活動報告書等）および企業・団体様の情報（求人情報、イベント情報等）をスピード感をもって学生に提供しています。「M-Career」への登録に関するご案内は、11～12ページをご確認ください。

「M-Career」イメージ図



■主な就職キャリア支援スケジュール

学部1・2年生向け	キャリア形成	春学期	秋学期	学部3年生・大学院1年生向け	就活準備・就職活動	春学期	秋学期
		<就職・キャリアデザイン理解> ●キャリア・就職情報提供ガイダンス ●Meiji Job Trial オリエンテーション ●海外 PBL 型インターンシップ説明会 <自己分析> ●自己分析講座 <業界・企業・仕事研究> ●企業による業界・仕事講座 ●企業見学会 <その他> ●PBL(企業による課題解決型学習)	<就職・キャリアデザイン理解> ●キャリア・就職情報提供ガイダンス ●【理系対象】大学院進学を考えている人向けガイダンス <自己理解> ●自己分析講座 <業界・企業・仕事研究> ●企業による業界・仕事講座 ●キャリアデザインゼミ(社会人訪問)				
学部4年生・大学院2年生向け	就職活動	春学期	秋学期	春学期	秋学期		
		<就職・キャリアデザイン理解> ●今から知っておきたい内定知識講座 ●就活の進め方セミナー ●これからできること、リスタートセミナー ●企業動向紹介セミナー ●就活生のためのリフレッシュセミナー <業界・企業・仕事研究> ●留学生向け合同企業説明会 <就活スキル向上> ●公務員志望者向け模擬面接 <学内選考会> ●学内企業説明会・採用選考会 <その他> ●新卒応援ハローワークの求人紹介会	<就職・キャリアデザイン理解> ●就活マスタークラス ●卒業後の進路に不安がある方向けセミナー <学内選考会> ●合同企業フェア ●学内企業説明会・採用選考会 <その他> ●新卒応援ハローワークの求人紹介会				

求人のお願

1 求人・各種セミナー・インターンシップ情報等のご提供について

明治大学では、独自の企業情報検索システム（以下「M-Career」）により、インターネット上において、企業・団体様の各種情報公開を行っています。「M-Career」は無料でご利用いただけます。本学学生に対する求人に際しましては、インターネット上からご登録いただきますようお願いいたします。

「M-Career」への情報登録のメリット

- ・学生へのダイレクトな情報発信
- ・業種や職種、勤務地など様々な条件設定での情報公開
- ・企業・団体様の独自書式の資料添付
- ・最新情報の公開（登録回数は無制限で、何度でも更新可能）

2 「M-Career」への求人・各種セミナー・インターンシップ情報のご登録方法

「M-Career」への登録手順は、本学のホームページまたは下記QRコードからご確認をお願いします。
アカウント取得後に、企業・団体様の各種情報の登録が可能です。アカウント発行完了まで1週間ほどかかる場合がありますので、予めご了承ください。

●ご登録可能な企業情報

- ・求人情報
- ・会社説明会情報
- ・各種仕事理解イベント（インターンシップ等）情報の登録

※求人票については、採用広報開始日（3月1日）からの公開となります。

※イベント募集の際は、学生の学修環境の確保にご理解・ご配慮くださいますようお願いいたします。

「M-Career」ログイン画面(イメージ)



↓ご登録・操作手順に関するご案内はこちらから
<https://www.meiji.ac.jp/shushoku/kyujin.html>



3 貴社に在籍されている卒業生の紹介について

(1) 本学出身在職者名簿（卒業生名簿）ご提供のお願い

本学学生が卒業生を訪問する際の資料として利用させて頂くため、企業・団体の皆様に卒業生名簿の提出のご協力をお願いしています。

●名簿の書式について

書式は自由です。企業・団体様の個人情報保護規程による範囲内でのご回答で結構です。

可能であれば、以下6項目の記載をお願いします。

①企業・団体名 ②卒業生氏名 ③本学卒業年 ④入社年 ⑤所属部署 ⑥卒業生訪問時の連絡先

※卒業生個人のご連絡先の記載が難しい場合は、人事ご担当者様のご連絡先でも構いません。

●ご提出方法

M-Careerにログイン後、TOP画面にある「卒業生名簿提出フォーム」よりお願いします。

なお、M-Careerのアカウントをお持ちでない企業・団体様は、新規登録のうえ、ご提出ください。

(2) ビズリーチ・キャンパスについて

明治大学就職キャリア支援センターは、卒業生訪問の実施を推奨しています。実施に当たっては、大学公認卒業生訪問サービスとして「ビズリーチ・キャンパス」を推奨しています。

4 本学への訪問について

本学では、企業・団体様の採用活動における求人に関する情報交換のため、ご来訪を承っています。訪問を希望される場合は、インターネット上から事前にご予約いただきますようお願いいたします。

●予約方法

・駿河台キャンパス・生田キャンパス（理系）・中野キャンパス（文系・理系）への訪問を希望される場合は、本学ホームページ上の「ご来訪予約フォーム」よりご予約ください。



↓ご予約はこちらから
<https://www.meiji.ac.jp/shushoku/vistcareercenter.html>



●ご予約時のお願い

- ・ご面談の目的は、企業・団体様の採用活動における求人に関する情報交換のみとさせていただきます。
- ・情報会社様によるイベント告知等でのご予約はご遠慮ください。
- ・UIJターン就職支援企業様のご来訪については、お電話にてご連絡をお願いします（連絡先はP.22ご参照）。
- ・短期間に複数回のご来訪は、ご遠慮くださいますようお願いいたします。
- ・応接室の収容定員の関係上、なるべく各社3名以内のご来訪にご協力ください。4名以上でのご来訪をご希望の場合には、事前に各キャンパスへご相談ください。
- ・ご予約前に必ず「M-Career」にアカウントを開設し、求人票をアップロードしてください。

学部・大学院

今、世界が求めている
強い「個」、協調性に長けた「個」を
明治大学は育てます。

1 海外留学・国際交流

世界を動かす 「未来開拓力」を育む

明治大学は、国内外の様々な課題に対峙し、自ら時代を切り拓く「前へ」の精神を持ち、解決策への道筋を示すことができる人材を育成します。新たな時代、多様な価値観の中で、ともに学び共創する世界トップレベルの教育力を持つ大学を目指し、国内外から多様な学生を受け入れるとともに、世界に挑戦する学生を支援しています。

2 就職キャリア支援

圧倒的な実績・柔軟なサポートで 「個」を将来に導く

高校の進路指導教諭が選ぶ「就職に力を入れている大学」ランキングで、16年連続1位に選出されています。多彩な支援行事の実施や、独自の選考対策、教職員のサポート体制の充実などが、高く評価されています。
※大学通信調査（2026年2月発表）より

3 文理融合の学び アクティブラーニング

分野を越えて主体的に学び、 多彩な「個」の力を身につける

さらに国際化が進む昨今、世界を舞台に活躍する人材に求められるのは、分野の垣根を越えて広く物事を捉える視点です。明治大学には、そんな視点を身につける環境が整っています。

＊ゼミは10～20人規模で1・2年次から開始。

＊1コマ100分の授業を50分ごとのモジュールに区分し、アクティブな使い方が可能。

＊留学に挑戦しやすい環境を整えるため、2学期4ターム制導入。

＊PBL（課題解決型学習）授業の展開。

4 高水準の研究環境

社会に貢献する 研究事業で世界に挑む

文系領域から理系領域まで、科学研究費をはじめ、様々な公的資金に採択されました。また、企業等との受託研究・共同研究、学術研究奨励寄付の受け入れ、外部団体等の研究助成金の獲得等、幅広く外部研究資金を獲得しています。総合大学ならではの多様な知を生かし、研究による社会貢献を目指しています。

5 都心型キャンパス

世界の情報が集積する 東京で刺激的に過ごす

駿河台キャンパスの最寄り駅、御茶ノ水駅は、東京駅からの乗車時間がわずか5分。和泉・生田・中野キャンパスも、都心からアクセス抜群です。全国の学生と出会うのも都心型大学ならではの。また海外の大学との提携により、世界中から多くの留学生を受け入れています。



学部紹介

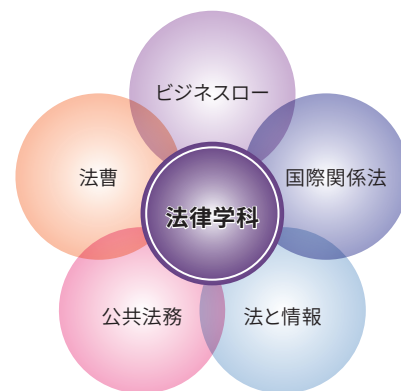
【各学部図表】図表（学科の名称等）は順不同で掲載。

法学部

1学科
5コース

人間性・国際性に裏打ちされた
リーガル・マインドの育成

- 1 法曹養成だけでなく、課題解決力に富む、社会と人間について深い洞察力を持つ人材を育成。
- 2 法律関係科目はもちろん、国際社会で活躍する人材を育てる外国語教育や国際交流が盛ん。
- 3 少人数で行われるゼミナール教育でプレゼンテーション能力や問題解決能力の向上を目指す。
- 4 「法曹」「公共法務」「ビジネスロー」「国際関係法」「法と情報」の5コースを設置。

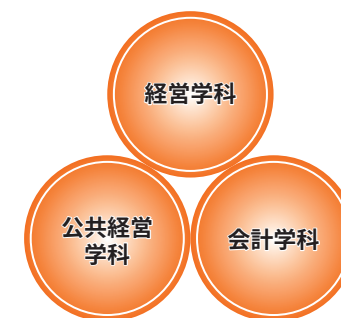


経営学部

3学科

「グローバル経営人材」と
「価値創造人材」の育成

- 1 経営学科、会計学科、公共経営学科の3学科制。1年次に経営学の全体像を把握し2年次から学科所属。
- 2 グローバル経営人材育成トラックGREAT、高度職業会計人養成トラックCAP、デジタル経営人材開発トラックDIGITを設置し、ビジネスリーダーを養成。
- 3 体験型授業やプロジェクト・ベースド・ラーニング、アクティブ・ラーニングを積極的に導入し、強い「個」を養う。
- 4 ローカルからグローバル、営利から非営利にわたる幅広い経営課題に対応できる人材を育成。

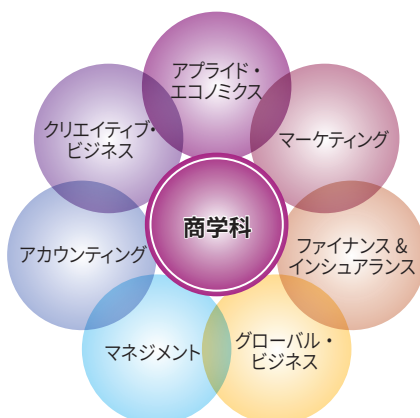


商学部

1学科
7コース

ビジネスの最前線で活躍できる
人間力の育成

- 1 商学専門演習と総合学際演習の同時履修で、課題への判断能力を養う。
- 2 自由に履修できる7つの専門コースで商学の最先端分野の知識を幅広く身に付ける。
- 3 「地域・産学連携による自主・自立型実践教育」を導入。主体性をもって働く力を養う。
- 4 海外研修科目や多言語4年間一貫教育を通じて、グローバル経済社会で活躍できる能力を養う。

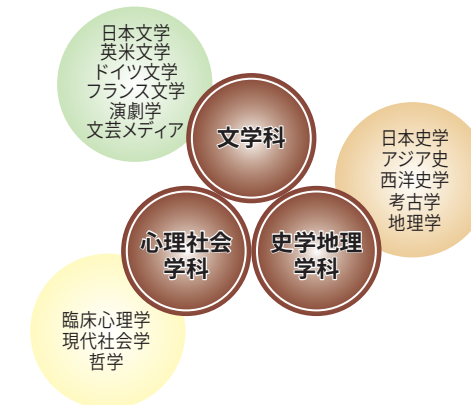


文学部

3学科
14専攻

充分な専門知識を身に付け、
人間、異文化を理解する力を磨く

- 1 文学部、史学地理学科、心理社会学科の3学科 14専攻で構成される。
- 2 文学を多角的に捉え、幅広い教養を身に付ける目的で他学科・他専攻の科目履修が可能。
- 3 主体的に学ぶ姿勢を身に付け、自らの考えを積極的に発信できるよう少人数教育を徹底。
- 4 「教員」「学芸員」「社会教育主事(社会教育士)」「司書(学校司書を含む)」「司書教諭」の資格取得が可能。

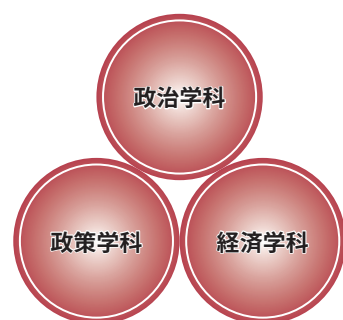


政治経済学部

3学科

実学と教養を身に付け
「個」を強くする教育の実践

- 1 少人数の演習形式を中心としたカリキュラム。ゼミ指導型コース制。
- 2 一般的知識と広い教養を修得。多彩なリベラルアーツ科目。
- 3 各分野の最先端にいる人々から学ぶ。応用科目としての「総合講座科目」。
- 4 世界で通用する力を身につける。グローバルキャリア形成(GCD)プログラム。
- 5 明治大学のグローバル人材育成を牽引！グローバル教育・留学プログラム。



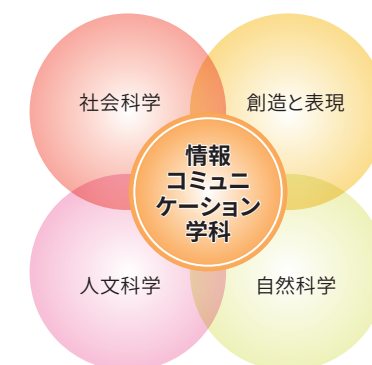
※2026年度より地域行政学科の募集を停止し、政策学科の募集を開始しました。

情報コミュニケーション学部

1学科

主体性を持って学域横断的に学び、
自らの問いを発見・解決

- 1 1～4年次まで段階的に履修する少人数ゼミナールを設置し、自ら問題を発見・解決できる人材を育成。
- 2 自身の興味・関心のある科目を自由にカスタマイズしながら、多角的に人と社会にアプローチする力を養う。
- 3 学生による取り組みを軸としたアクティブラーニングの科目を多数用意し、創造と表現を实践しながら、主体性を養う。
- 4 語学以上の何かを現場でつかむことを目的とした「ミッション（目的）遂行型」留学を用意。



※情報コミュニケーション学部ならではの学びを記載しています。

学部紹介

[各学部図表] 図表(学科の名称等)は順不同で掲載。

理工学部

8学科

自然科学と数理を礎として
未来の先端科学技術を切り開く人材を育成

1

将来どのような科学技術分野に進んでも、論理的な思考をもって未知の課題に柔軟に対処できる理系人材を育てる。

2

高度な研究設備を用いた実践教育により、デザイン能力溢れる技術者や研究者を育成する。

3

少人数ゼミナールなどの教養教育と複数外国語教育により、歴史・文化や社会に対する理解、豊かな国際感覚とコミュニケーション能力を育てる。

4

学科の垣根を越えたクラス編成により、異なる専門分野を持つ学生間の交流を促進する。

電気電子生命学科

機械工学科

機械情報工学科

建築学科

応用化学科

情報科学科

数学科

物理学科

農学部

4学科

未来に向けて「食料・環境・生命」を
総合的に捉える科学

1

人類と地球の課題に取り組む、「農学科・農芸化学科・生命科学科・食料環境政策学科」の4学科。

2

多数の実験・実習を設置。実学を重視し現場を通じて理解を深める教育を旨とする。

3

最先端の研究に要求される高度な研究機器類を整備し、研究体制の充実をはかっている。

4

理系、社会科学系、人文科学系の教員が連携・協力。巨視的に事象を把握・対処できる知識を養う。

農学科

農芸化学科

生命科学科

食料環境政策学科

2026年4月現在						
学 科	研究室名	教員氏名	研究室名	教員氏名	研究室名	教員氏名
電気電子生命学科	航法・センシング工学	網 嶋 武	オプトバイオエレクトロニクス	勝 俣 裕	光 通 信 工 学	中村守里也
	通 信 技 術	井家上哲史	有機分子・バイオ機能材料	加 藤 徳 剛	有機分子エレクトロニクス	野 口 裕
機械工学科	生命情報科学	池田有理	複 合 情 報 処 理	鎌 田 弘 之	超 電 導 応 用 技 術	野 村 新 一
	スマートメカトロニクス	伊 丹 琢	電 力 シ ス テ ム	川 崎 章 司	知 能 情 報 科 学	保 坂 忠 明
機械情報工学科	システム制御	伊 吹 竜 也	バイオ・マイクロデバイス	工 藤 寛 之	生 体 計 測	星 野 聖
	半導体ナノテクノロジー	小 椋 厚 志	電 機 シ ス テ ム	久保田寿夫	パワーエレクトロニクス	前 川 佐 理
建築学科	健康医工学	小 野 弓 絵	大規模複雑システム	熊 野 照 久	機 能 デ バ イ ス	三 浦 登
	電気磁気エネルギー材料	小 原 学	認 知 脳 科 学	嶋田総太郎	知 能 信 号 処 理	村 上 隆 啓
応用化学科	脳回路機能	梶 原 利 一	集 積 回 路 シ ス テ ム	関根かをり	波 動 信 号 処 理 回 路	和 田 和 千
	機能デザイン	石 田 祥 子	機械ダイナミクス	齋 藤 彰	流 体 力 学	中 吉 嗣
情報科学科	航空構造材料	岩 堀 豊	流 体 工 学	神 原 潤	ミ ク ロ 熱 工 学	中 別 府 修
	機械制御システム	加 藤 恵 輔	機 械 加 工	澤 野 宏	材 料 強 度	納 富 充 雄
物理学科	ロボット工学	黒 田 洋 司	ビークルダイナミクス	椎 葉 太 一	材 料 力 学	松 尾 卓 摩
	環境熱学	小 林 健 一	先端加工システム	田 島 真 吾	計 測 情 報	宮 城 善 一
数学科	環境情報	相 澤 哲 哉	設計システム	井 上 全 人	設 計 工 学	館 野 寿 丈
	システム制御	阿 部 直 人	マニピュレーション	小 澤 隆 太	固 体 力 学	田 中 純 夫
食料環境政策学科	材料システム	有 川 秀 一	流 体 デ ザ イ ン	亀 谷 幸 憲	情 報 統 計 学	永 井 義 満
	計測工学	石 原 康 利	エネルギーシステム	川 南 剛	複 雑 ロ ボ ッ ト シ ス テ ム	新 山 龍 馬
学科共通	制御工学	市 原 裕 之	ソーシャルロボティクス	木 本 充 彦	機 械 力 学	松 岡 太 一
	建築史・建築論	青 井 哲 人	構 造 力 学	小 林 正 人	建 築 環 境 デ ザ イ ン	樋 山 恭 助
生命科学科	建築環境計画	上 野 佳 奈 子	建 築 材 料	小 山 明 男	建 築 生 産	松 沢 晃 一
	建築空間論	大 河 内 学	建 築 環 境 工 学	酒 井 孝 司	建 築 設 備	光 永 威 彦
農芸化学科	木質構造	梶 川 久 光	建 築 ・ ア ー バ ン デ ザ イ ン	佐 々 木 宏 幸	建 築 計 画	連 勇 太 朗
	建築構法計画	門 脇 耕 三	居 住 デ ザ イ ン	庄 ゆ た 夏	都 市 計 画	山 本 俊 哉
農学科	地域デザイン	川 島 範 久	建 築 計 画 ・ 設 計	田 中 友 章	耐 震 防 災 工 学	劉 虹
	シェル・空間構造	熊 谷 知 彦	建 築 構 造	富 澤 徹 弥		
生命科学科	生体関連材料	相 澤 守	放 射 化 学	小 池 裕 也	応 用 物 理 化 学	深 澤 倫 子
	デバイス化学工学	石 飛 宏 和	機 能 有 機 化 学	田 原 一 邦	天 然 物 化 学	本 多 貴 之
農芸化学科	エネルギー変換化学	岩 瀬 顕 秀	精 密 有 機 反 応 制 御	土 本 晃 久	生 物 化 学	本 田 み ち よ
	材料化学工学	大 竹 芳 信	先 端 機 能 材 料	永 井 一 清	無 機 結 晶 化 学	我 田 元
農学科	合成有機化学	小 川 熟 人	無 機 錯 体 化 学	長 尾 憲 治	無 機 材 料 化 学	渡 邊 友 亮
	データ化学工学	金 子 弘 昌	固 体 化 学	布 谷 直 義		
農芸化学科	数理最適化	飯 塚 秀 明	マルチモーダル情報処理	杉 浦 陽 介	高 性 能 並 列 計 算 機 シ ス テ ム	宮 島 敬 明
	コンピュータ設計	井 口 幸 洋	コンピュータアーキテクチャ	堤 利 幸	画 像 応 用 シ ス テ ム	宮 本 龍 介
農芸化学科	ソフトウェア科学	岩 崎 英 哉	ソ フ ト ウ ェ ア 工 学	早 川 智 一	脳 知 能 学	向 井 秀 夫
	離散アルゴリズム	小 林 浩 二	人 工 知 能	林 陽 一	知 的 情 報 処 理 シ ス テ ム	横 山 大 作
農芸化学科	情報セキュリティ	齋 藤 孝 道	知 能 ロ ボ ッ ト シ ス テ ム	松 田 匠 未		
	数 学 第 5	市 田 優	数 学 第 1 5	長 友 康 行	数 学 第 1 4	松 岡 直 之
農芸化学科	数 学 第 1 0	藏 野 和 彦	数 学 第 1 2	中 村 幸 男	数 学 第 4	宮 部 賢 志
	数 学 第 3	小 林 稔 周	数 学 第 1	名 和 範 人	数 学 第 8	矢 崎 成 俊
農芸化学科	数 学 第 6	今 野 宏	数 学 第 9	野 原 雄 一	数 学 第 7	吉 田 尚 彦
	数 学 第 2	坂 元 孝 志	数 学 第 1 1	廣 瀬 宗 光		
農芸化学科	レーザー物理	小 田 島 仁 司	地 球 内 部 物 理	新 名 良 介	生 物 物 理 第 2	平 岡 和 佳 子
	原子・光科学	金 本 理 奈	光 物 性	鈴 木 隆 行	流 体 物 性	平 野 太 一
農芸化学科	ミクロ電子物性	菊 地 淳	地球・惑星大気物理	鈴 木 秀 彦	生 物 物 理 第 1	光 武 亜 代 理
	物性理論	楠 瀬 博 明	量 子 光 学	立 川 真 樹	量 子 固 体 物 性	安 井 幸 夫
農芸化学科	宇宙物理実験	佐 藤 寿 紀	原 子 核 物 理 実 験	庭 瀬 暁 隆	素 粒 子 論	横 山 大 輔

2026年4月現在						
学 科	研究室名	教員氏名	研究室名	教員氏名	研究室名	教員氏名
農学科	作物学	塩 津 文 隆	植 物 病 理 学	大 里 修 一	ア グ ロ エ コ ロ ジ ー	小 泉 敬 彦
	生産システム学	池 田 敬	応 用 昆 虫 学	糸 山 享	環 境 気 象 学	矢 崎 友 嗣
農芸化学科	植物育種学	津 田 勝 利	植 物 線 虫 学	新 屋 良 治	環 境 デ ザ イ ン	菅 野 博 貢
	動物生産学	佐 々 木 羊 介	果 樹 園 芸 学	岩 崎 直 人	水 資 源 学	小 島 信 彦
生命科学科	動物遺伝資源学	溝 口 康	野 菜 園 芸 学	元 木 悟	地 域 環 境 計 画	服 部 俊 宏
	動物環境学	川 口 真 以 子	花 卉 園 芸 学	半 田 高		
農芸化学科	食品生化学	竹 中 麻 子	生 物 物 理 学	鈴 木 博 実	植 物 環 境 制 御 学	田 畑 亮
	食品安全健康科学	長 田 恭 一	ゲ ノ ム 微 生 物 学	島 田 友 裕	微 生 物 化 学	村 上 周 一 郎
生命科学科	食品機能化学	石 丸 喜 朗	植 物 制 御 化 学	瀬 戸 義 哉	環 境 分 析 化 学	安 保 充
	発酵食品学	山 田 千 早	天 然 物 有 機 化 学	荒 谷 博	環 境 バ イ オ テ ク ノ ロ ジ ー	小 山 内 崇
生命科学科	食品工学	中 村 卓	ケ ミ カ ル バ イ オ ロ ジ ー	久 城 哲 夫	微 生 物 遺 伝 学	前 田 理 久
	栄養生化学	金 子 賢 太 朗	土 壌 園 科 学	加 藤 雅 彦	微 生 物 生 態 学	中 島 春 紫
食料環境政策学科	ゲノム機能工学	大 鐘 潤	微 生 物 工 学	浜 本 牧 子	動 物 再 生 シ ス テ ム 学	乾 雅 史
	環境応答植物学	賀 来 華 江	生 体 機 構 学	長 竹 貴 広	生 体 制 御 学	河 野 菜 摘 子
食料環境政策学科	植物分子生理学	川 上 直 人	遺 伝 情 報 シ ス テ ム 学	出 嶋 克 史	プ ロ テ オ ミ ク ス	紀 藤 圭 治
	植物適応制御学	高 橋 直 樹	分 子 発 生 学	吉 田 健 一	植 物 発 生 制 御 学	田 中 博 和
食料環境政策学科	細胞情報制御学	戸 村 秀 明	生 体 機 能 物 質 学	渡 辺 寛 人	動 物 生 理 学	中 村 孝 博
	動物神経免疫学	橋 本 恵	動 物 栄 養 学	浅 沼 成 人	環 境 応 答 生 物 学	吉 本 光 希
食料環境政策学科	食料貿易論	作 山 巧	農 業 マ ネ ジ メ ン ト 論	竹 本 田 持	環 境 資 源 会 計 論	本 所 靖 博
	フードシステム論	大 江 徹 男	国 際 農 業 経 済 論	曉 剛	環 境 社 会 学	市 田 知 子
食料環境政策学科	食ビジネス論	中 嶋 晋 作	国 際 開 発 論	池 上 彰 英	地 域 ガ バ ナ ン ス 論	小 田 切 徳 美
	食料農業社会学	片 野 洋 平	環 境 経 済 論	佐 々 木 宏 樹	共 生 社 会 論	岡 通 太 郎
食料環境政策学科	農業政策論	橋 口 卓 也	資 源 経 済 論	藤 栄 剛		
学科共通	アグリサイエンス※1	岩 崎 泰 永	フィールド先端農学※1	伊 藤 善 一	英 語 農 学 ※ 2	マクガート、イアン

※ 1 理系3学科共通
※ 2 4学科共通



学部紹介

【各学部図表】図表（学科の名称等）は順不同で掲載。

国際日本学部

1学科

「日本と世界をつなぐ」力を身につけて世界を舞台に活躍できる人材を育成

- 1 日本と世界諸国の社会システムや文化などを多角的に学び、国際社会で活躍する力を身に付ける。
- 2 「英語で仕事ができるレベル」を到達目標とし、英語で学位を取得できる English Track も設置。
- 3 留学や海外インターシップのプログラムが充実。毎年200人以上の学生が活用。
- 4 世界中からの外国人留学生と日本人学生の交流機会も多彩。

※国際日本学部の研究領域を抜粋しています。

総合数理学部

3学科

「数理」と「情報」で新たなモデルを創造・展開・発信

- 1 数理科学とコンピュータの融合により、新しいものを創造していくことのできる人材を育成。
- 2 グローバル社会で必要とされる英語力と、知識基盤社会を支える教養を身に付ける。
- 3 思考力や表現力を鍛え、主体的に学ぶ姿勢を、3年次からの卒業研究では分析・体系化・表現力を養う。
- 4 学生と教員との距離が近く、コミュニケーションをはかりながら理解を深める授業が多い。

(総合数理学部)

2026年4月現在

学 科	研究室名	教員氏名	研究室名	教員氏名	研究室名	教員氏名
現象数理 統計学科	パターン発生機構の数理解析 金融工学・応用ファイナンス	池 田 幸 太 乾 孝 治 小 川 知 之 桂 田 祐 史 北 山 貴 裕 ギンダー, エリットA.	界面化学、非線形科学 数量ファイナンス 予測モデル構築と最適化手法 データ駆動型時系列モデリング	末 松 信 彦 高 橋 明 彦 土 谷 隆 中 野 直 人 中 村 和 幸 西 本 恵 太	非線形偏微分方程式論 統計科学・機械学習 アクチュアリー数理 数理生物学	二 宮 広 和 廣 瀬 善 大 松 山 直 樹 若 野 友 一 郎
	数 値 解 析 トポロジーと幾何学 応用数学・数値解析		統計科学 計 算 社 会 科 学			
先端メディア サイエンス学科	コンピューティング幾何学 知覚情報処理・生体情報解析 セキュリティ、プライバシー コミュニケーションメディア 認知科学、HCI/HAI	阿 原 一 志 荒 川 薫 菊 池 浩 明 小 林 稔 小 松 孝 徳	センサ・ネットワーク技術の融合 映像・画像処理、画像符号化 低次元トポロジー 検索とインタラクション VR/AR、HCI、ゲーム	齊 藤 裕 樹 鹿 喰 善 明 鈴木正明 中 村 聡 史 橋 本 直	インタラクティブメディア コンピュータグラフィカル・ビジュアル インタラクション 音声情報処理 インタラクションデザイン	福地健太郎 三 武 裕 玄 宮 下 芳 明 森 勢 将 雅 渡 邊 恵 太
	並列分散処理、大規模データ解析 自然言語処理 エネルギーネットワーク 無線通信・レーダー技術 データマイニング、知能システム	秋 岡 明 香 岩 倉 友 哉 浦 野 昌 一 大 野 光 平 櫻 井 義 尚	生体分子の機能・構造解析 環境と再生可能エネルギー 機械学習、データ分析 スマートシティ ビジネスデータ・サイエンス	佐々木貴規 田 村 滋 中 田 洋 平 福 山 良 和 前 野 義 晴	ロ ボ テ ィ ク ス 並列分散コンピューティング 光ファイバ通信、光無線通信、光計測技術	森 岡 一 幸 吉 田 明 正 笠 史 郎

※研究室は変更となる場合があります。



大学院・専門職大学院紹介

各研究科の概要

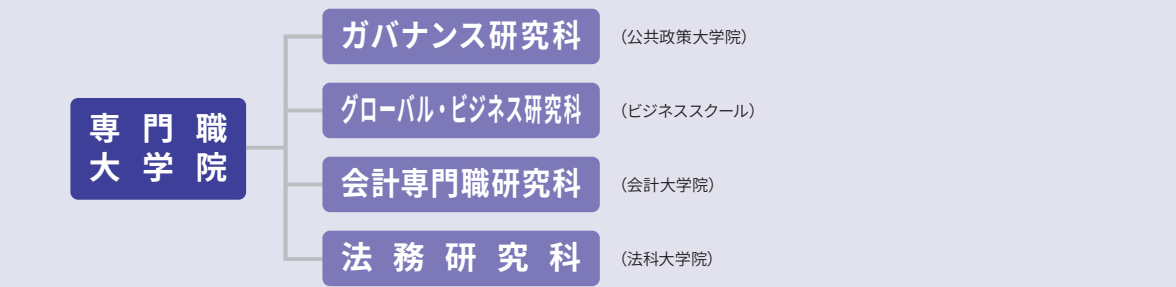
明治大学大学院は、12の研究科で構成されており、研究科では総合大学であることを活かし、人文科学、社会科学、自然科学の幅広い領域で教育・研究が行われているため、総合的な学びに挑戦できます。各研究科とも国際化の推進や高度な学問に挑戦するとともに、領域横断型のカリキュラムを通じて、継続的に学び続ける中で、高度化・複雑化する社会・経済に対応するための論理的な思考を磨いています。



専門職大学院は4つの研究科で構成されており、高い専門性が求められる職業分野を対象とし、公共政策のプロフェッショナルを養成する「ガバナンス研究科」、国内でMBA取得が可能な「グローバル・ビジネス研究科」、高度会計専門職業人を養成する「会計専門職研究科」、法曹を養成する「法務研究科」が実践的な教育を行っています。

ガバナンス研究科及びグローバル・ビジネス研究科は、社会人を主対象とし、4月入学と9月入学を実施しています。授業は平日夜間と土曜日を中心に、一部の集中授業は日曜や休日にも行い、仕事と学業の両立に配慮されています。また、所属する企業・団体等が学費を負担して従業員を派遣する「企業・団体等派遣制度」を設けています。「企業・団体等派遣制度」の詳細は、専門職大学院事務室(03-3296-2397)にお問い合わせください。

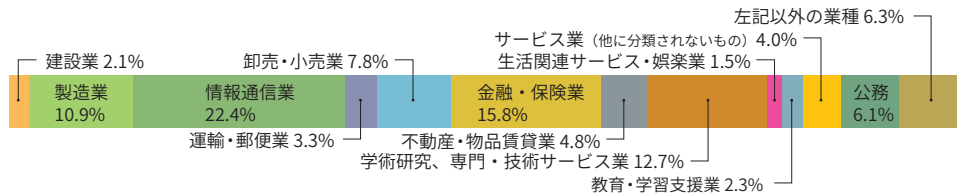
また、会計専門職研究科は、昼夜開講により平日夜間、土曜日及びメディア授業の履修により修了できる制度を実施し、社会人学生を積極的に受け入れています。



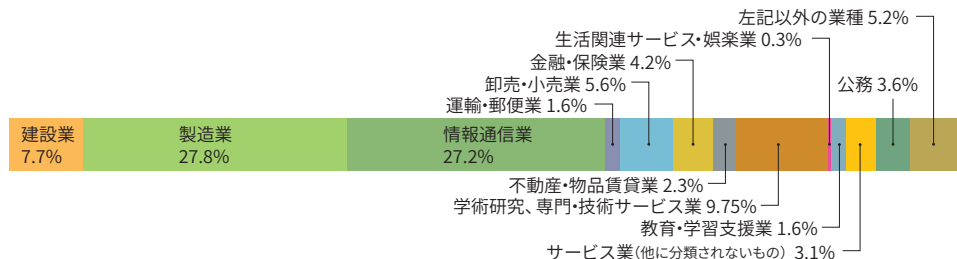
業種別就職状況

(2026年3月卒業・修了者)

文系



理系



出身地別卒業生数・Uターン就職者数

(2026年3月卒業・修了者)



北 陸		
男子	女子	Uターン
富山県	19	10
石川県	13	6
福井県	10	11

甲 信 越		
男子	女子	Uターン
新潟県	44	25
山梨県	21	9
長野県	49	29

東 北		
男子	女子	Uターン
青森県	14	14
岩手県	17	8
宮城県	37	15
秋田県	13	5
山形県	20	10
福島県	35	15

関 東		
男子	女子	Uターン
茨城県	76	55
栃木県	64	44
群馬県	61	30
埼玉県	677	340
千葉県	579	296
東京都	1791	957
神奈川県	1241	600

東 海		
男子	女子	Uターン
岐阜県	29	18
静岡県	93	50
愛知県	106	61
三重県	20	9

近 畿		
男子	女子	Uターン
滋賀県	12	9
京都府	12	6
大阪府	43	19
兵庫県	36	22
奈良県	9	5
和歌山県	11	9

中 国		
男子	女子	Uターン
鳥取県	3	2
島根県	5	3
岡山県	20	8
広島県	52	25
山口県	13	3

九 州		
男子	女子	Uターン
福岡県	64	44
佐賀県	7	3
長崎県	12	9
熊本県	17	6
大分県	14	4
宮崎県	13	6
鹿児島県	6	10

沖 縄		
男子	女子	Uターン
沖縄県	17	11

四 国		
男子	女子	Uターン
徳島県	6	3
香川県	16	6
愛媛県	16	8
高知県	5	4

就職キャリア支援センターのご案内

駿河台キャンパス



就職キャリア支援センター(駿河台キャンパス)

法学部・商学部・政治経済学部・文学部・経営学部・
情報コミュニケーション学部(各学部3・4年次)
大学院・専門職大学院

〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台 1-1 学生会館 2 階
TEL:03-3296-4233 FAX:03-3296-4238

- JR 中央線・総武線、東京メトロ丸ノ内線 / 御茶ノ水駅 下車徒歩3分
- 東京都千代田線 / 新御茶ノ水駅 下車徒歩5分
- 都営地下鉄三田線・新宿線、東京メトロ半蔵門線 / 神保町駅 下車徒歩5分

受付時間 平日9：30～17：30(11：30～12：30を除く)※

和泉キャンパス



就職キャリア支援センター(和泉キャンパス)

法学部・商学部・政治経済学部・文学部・経営学部・
情報コミュニケーション学部(各学部1・2年次)、大学院

〒168-8555 東京都杉並区永福 1-9-1 第一校舎 1 階
TEL:03-5300-1432

- 京王線・井の頭線 / 明大前駅下車 徒歩5分

受付時間 平日12：30～16：30※

生田キャンパス



就職キャリア支援センター(生田キャンパス)

理工学部・農学部(各学部1～4年次)、大学院

〒214-8571 神奈川県川崎市多摩区東三田 1-1-1 中央校舎1階
TEL:044-934-7584 FAX:044-934-7903

- 小田急線(準急・通勤準急・各駅停車) / 生田駅下車、南口から徒歩10分
- 小田急線「向ヶ丘遊園駅」北口下車→小田急バス「明大正門前」で終点

受付時間 平日9：30～17：30(11：30～12：30を除く)※

中野キャンパス



就職キャリア支援センター(中野キャンパス)

国際日本学部・総合数理学部(各学部1～4年次)、大学院

〒164-8525 東京都中野区中野 4-21-1 高層棟 6F
TEL:03-5343-8090 FAX:03-5343-8092

- JR 中央線快速・総武線、東京メトロ東西線 / 中野駅下車 北口より徒歩8分

受付時間 平日10：00～17：30(11：30～12：30を除く)※



※夏季休業期間 8月1日～9月19日 9：30～16：00
(8月10日～8月16日は閉室)
※冬季休業期間 12月26日～1月7日は閉室
※和泉キャンパスは夏季・冬季休業期間および2・3月は閉室。

明治大学就職キャリア支援センター



